

郷土愛を育み、未来の人材を育成する地域協働プロジェクト

高校教育課

事業概要

本事業は、高校が地域と連携・協働してコンソーシアムを構築し、地域を題材とした探究的な学びや地方創生に向けた取組を実現することにより、地域振興の核としての高校の機能強化と、郷土への誇りや愛着を醸成し、郷土を担い、その良さを発信する人材の育成を支援することを目的としています。今年度は実施校を4校指定し、それぞれの地域の特色を活かした活動を実施しました。

実施校の取組

■ 穎娃高校

普通科・機械電気科において、「穎娃高コミュニティ～ゆい～」をテーマとして、南九州市の基幹産業である「茶業」を課題に設



【販売活動】

定し、コンソーシアムによる課題解決型学習を通じて、地域社会に対して主体的に考え行動できる人材の育成を図るとともに、地域貢献活動を通じて地域における高校の機能強化を図る取組を行いました。

■ 鹿児島水産高校

海洋科において、「高校生がTSUNAGU南さつまの海」をテーマとして、地域と連携し、地球温暖化の影響や海の砂漠化と言われる「磯焼け」の現象についての調査や研究活動を通して、郷土の豊かな海づくりに協力し、郷土の海の豊かさを守り育てる意識の高い人材の育成に取り組みました。



【アマモ種子選別作業】

■ 隼人工業高校

インテリア科・電子機械科・情報処理科において、「新時代を切り拓く地域融合型人材育成プロジェクト」をテーマとして、産学公連携によるコンソーシア



【校外企業実習】

ムの協働活動により、地域と一体となった魅力ある高校づくりに取り組むことで、活力ある地域づくりに貢献するとともに、郷土への誇りや愛着を醸成し、その良さを発信できる人材の育成に取り組みました。

■ 福山高校

普通科・商業科において、「福山みらい創業塾」をテーマに、産業界や行政等によるコンソーシアムを構築し、中山間地域特有の課題をフィー



【ワークショップ】

ルドワークや、オンラインによるワークショップを活用した高大接続による学習を進めることで、自発的で創造的な思考を持つ人材の育成に取り組みました。

おわりに

本事業による地域を題材とした探究的な学びや地方創生に向けた取組は、一定の成果を得ることができたと考えており、今後、この取組が地域に根つき、さらなる充実が図られることを期待します。

なお、実施校の成果報告については、県教育委員会のホームページに掲載する予定です。

